

政策コメンテーター報告(第1回)【意見照会期間:2016年2月12日～2月22日】: 岡谷 篤一 岡谷鋼機株式会社代表取締役社長

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1	<p>2016年2月上旬から2月下旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2015年11月上旬から11月下旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。なお、政府の景気認識については月例経済報告の中でお示ししているのでご参照ください。</p>		<p>愛知県の景気については、比較的堅調に推移していると思う。消費については、百貨店・スーパー等の売り上げは、高額品の売り上げが好調なこともあり比較的堅調だが、一部で暖冬の影響が出てきている。消費を下支えしているインバウンドについては、引き続き訪日外国人の数は伸びているが、為替の影響もあり、購買単価が下落してきている。製造業については、輸送用機器や工作機械が水準良く堅調だが、設備投資については、昨年末以降、補正予算を見据えて様子見の状態が続いている。補正予算で予算化された「モノづくり補助金」等の公募が始まったこともあり、今後動きが出てくると思う。トヨタ自動車の工場停止による影響は現時点、良く分からないが挽回生産にはかなりの時間がかかる見込みである。</p>
2016年前半に取り組むべき課題			
2	<p>2016年前半において、記載した3つの課題に関し、特に強化・加速すべきとお考えになる取組について、具体的な推進方法や手法がありましたらご紹介下さい。</p> <p>また、これら3つには含まれないが、同様に重要だとお考えの課題がございましたら、その推進方法とあわせて具体的にご記載下さい。</p>		<p>人手不足の地域が増えている一方で賃金・所得が伸び悩んでいる状況を打開するためには家計全体の所得を増やすような政策が不可欠である。そのため、「130万円の壁」の解消や女性が働きやすい環境作り等の課題解決に向けた議論を加速すべきである。</p> <p>また、消費の伸び悩みについては、国民が将来に不安を感じており、消費に対して慎重になっている要素が大きいと思う。最近の株価の下落、GDPの悪化等の環境変化を鑑み、消費税再引き上げに慎重な意見も見受けられるが、長期的な視点で考えると経済を安定させ、消費税を引上げ、社会保障制度全般を充実させ、国民が安心して暮らせるような制度設計にするべきである。</p> <p>更なる規制緩和の推進により市場の拡大や新分野進出を促す施策を展開するべきである。</p>